

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【公開番号】特開2011-244873(P2011-244873A)
 【公開日】平成23年12月8日 (2011.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2011-049
 【出願番号】特願2010-118186(P2010-118186)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 3 0 Z

A 6 1 B 6/08 3 0 0

A 6 1 B 6/00 3 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成23年11月18日 (2011.11.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

この装置では、本体部 1 0 0 をブッキー台と呼ばれる検査用寝台の下に差し込み（例えば図 3 参照）、ブッキー台に寝ている被検者に対して、例えば本体部 1 0 0 内の X 線発生器から垂直上方に向けて、検出部 1 2 0 の長手方向に延びる矩形スリット状の X 線ビームを照射し、透過したビームを本体部 1 0 0（及び被検者）の上方に位置する検出部 1 2 0 で検出する。X 線発生器と検出部 1 2 0 とをスリット面と垂直な方向に移動させることで、測定範囲内全域の測定を行うことができる。操作者は、例えばブッキー台の透明な天板を通して測定範囲の外周線 1 1 2 や中心線 1 1 4 を視認しつつ被検者を測定範囲に対して位置決めする。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 8】

【特許文献 1】特開 2 0 0 5 - 2 9 6 4 9 9 号公報

【特許文献 2】特表 2 0 0 5 - 5 1 7 4 8 7 号公報

【特許文献 3】特開 2 0 0 0 - 1 1 6 6 3 6 号公報

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【図 7】

